



FIRST

TOKYO

都民ファーストでつくる
「新しい東京」

～2020年に向けた実行プラン～

プランの特徴

- 1 都民**FIRST**(ファースト)の視点で、3つのシティを実現し、
「新しい東京」をつくる **4か年（2017～2020年）の政策展開**
- 2 「**FIRST**戦略」が示す、首都東京の成長戦略
- 3 東京の**FUTURE** 明るい東京の未来像の一端を描く
「Beyond2020 ～東京の未来に向けて～」

4か年の政策展開

「3つのシティ」を実現し、「新しい東京」をつくる

新しい東京

- ① 誰もが安心して暮らし、希望と活力を持てる東京
- ② 成長を生み続けるサステイナブルな東京
- ③ 日本の成長エンジンとして世界の中で輝く東京

セーフ シティ

ダイバーシティ

スマート シティ

「東京都長期ビジョン」の取組をバージョンアップ (進化・加速)

都民ファーストの視点で、**大義ある政策**を
都民の共感を得ながら積極的かつ計画的に展開

東京都長期ビジョンの政策目標

約 3 6 0



実行プランの政策目標

約 5 0 0

【計画事業費】平成29年度:約1兆4,200億円 4か年:約5兆6,100億円

セーフシティ

～もっと安全、もっと安心、
もっと元気な首都東京～

7
つの
政策
の
柱

- 1 地震に強いまちづくり
- 2 自助・共助・公助の連携による防災力の向上
- 3 豪雨・土砂災害対策
- 4 都市インフラの長寿命化・更新
- 5 まちの安全・安心の確保
- 6 まちの元気創出
- 7 多摩・島しょ地域のまちづくり

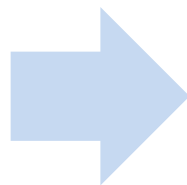
無電柱化の推進

東京都無電柱化推進条例（仮称）の策定

2017年度

電柱新設の禁止（道路法第37条の適用）**都道全線指定**（約2,200km）

■ **区市町村道への財政・技術支援の拡充**（先駆的に低コスト手法を導入する路線等）



倒れない・燃えないまちの形成

住宅の耐震化率

95%以上 2020年度

木造住宅密集地域（整備地域内）の不燃化 不燃領域率70% 2020年度

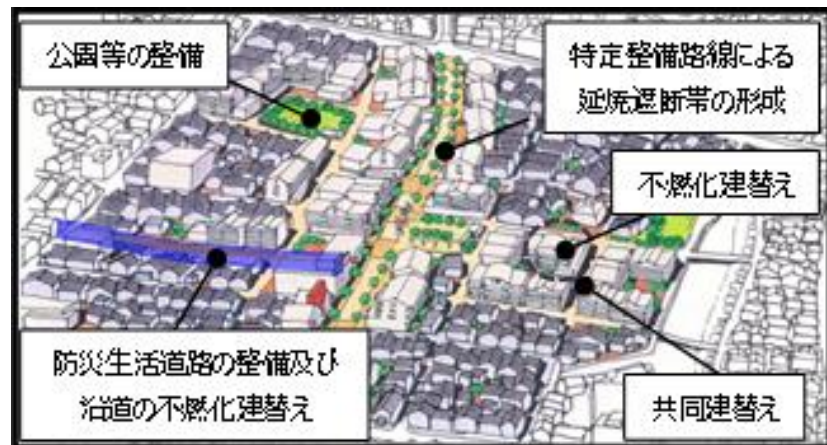
（延焼による焼失率がほぼゼロ）

■ 住宅の耐震化の促進

- ・戸建住宅の全戸訪問を行う区市町村への支援拡充
- ・マンション耐震化の助成制度等の充実 等

■ 木造住宅密集地域の不燃化

- ・不燃化特区の取組の促進
- ・延焼を遮断する都市計画道路の整備推進



都市インフラの戦略的な維持管理と計画的な更新

【予防保全型管理】

橋りょう **160着手** (累計) トンネル **26着手** (累計)

2024年度

【インフラの再構築】

下水道管の再構築 **100%完了** (整備年代の古い都心4処理区16,300ha)

2029年度

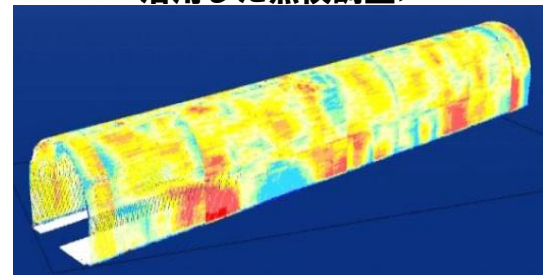
配水管の耐震化 **耐震継手化完了**

2019年度

(首都中枢・救急医療機関・競技会場等への供給ルート)

<最先端技術(レーザー測定)を活用した点検調査>

- 最先端技術を活用した点検調査を実施
- 都市インフラの長寿命化や健全な状態に保つことを目指す適切な対策を実施



ダイバーシティ

～誰もがいきいきと生活できる、
活躍できる都市・東京～

8つの政策の柱

- 1 子供を安心して産み育てられるまち
- 2 高齢者が安心して暮らせる社会
- 3 医療が充実し健康に暮らせるまち
- 4 障害者がいきいきと暮らせる社会
- 5 誰もが活躍できるまち
- 6 誰もが優しさを感じられるまち
- 7 未来を担う人材の育成
- 8 誰もがスポーツに親しめる社会

待機児童の解消（2019年度末）

保育サービス利用児童数 **7万人分増**（2016年度から4年間）

2019年度末

- 多様なサービスの更なる拡充
 - ・整備費、建物賃借料、借地料補助、物件所有者と保育事業者のマッチング支援
 - ・長時間預かりを行う幼稚園の支援
 - ・企業による保育施設設置のサポート 等
- 保育人材の確保・育成・定着支援の充実
 - ・宿舎借り上げ支援
 - ・キャリアアップ補助 等



(画像提供)ピクスタ

高齢者が安心して 暮らせる社会の実現

特別養護老人ホームの整備

定員 6万人分

認知症高齢者グループホームの整備

定員 2万人分

いずれも2025年度末

- 地域包括ケアシステムの構築
- 特養等の整備促進への支援の充実
- 介護人材等の確保・育成・定着支援の充実

障害者がいきいきと 暮らせる社会の実現

障害者雇用

4万人増

2024年度末

障害者に対する就労

・ 職場定着支援 **6,000人**

2020年度末

- 企業の雇用促進、福祉施設の受注拡大
- 特別支援学校での職業教育の充実
- ソーシャルファームの推進
- 障害者差別の解消に向けた条例の検討

ライフ・ワーク・バランスの充実

働き方改革宣言企業

4,000社

2020年度

「男性も家事・育児を行うことは当然である」

というイメージを持つ都民の割合（51%（2015年））

70%

2020年度

■ 男性の家事・育児への参画

・パパママサミット(仮称)の開催 等

■ 育児や介護と仕事の両立

・在宅勤務の導入支援 等

■ 働き方の見直し

・テレワーク推進センター(仮称)の整備 等



(画像提供)ピクスタ

女性の活躍推進

女性（うち25～44歳）の有業率の上昇	78%	2022年
都の支援による就職者（女性）	11,500人	2020年度
都の支援により起業を目指す女性	500人/年	2020年度

■ 気運の醸成

・知事自ら発信するシンポジウムの開催 等

■ 再就職支援・就業拡大

・マザーズハローワーク立川との連携 等

■ 起業支援

・セミナー、女性起業家との交流会
・クラウドファンディングの活用支援 等



(画像提供)ピクスタ

すべての子供たちの可能性を広げる教育

授業を理解できていないと思う高校生

(21% (2011年))

15%未滿

2021年度

生徒の英語力 (中学生：英検3級程度、高校生：英検準2級程度)

60%

2020年度

- 高校生等への給付型奨学金制度等の創設・拡充
- 基礎・基本を確実に習得させる取組の推進
 - ・「学力向上担当教師(仮称)」の配置
 - ・「ゆめナビプロジェクト(仮称)」「校内寺子屋」の実施 等
- グローバル人材の育成
 - ・英語の授業以外で英語を使用する「東京イングリッシュ・エンパワーメント・プログラム(仮称)」の導入
 - ・小学校英語教科化に向けた英語教育の推進 等



スマートシティ

～世界に開かれた、環境先進都市、
国際金融・経済都市・東京～

8つの政策の柱

- 1 スマートエネルギー都市
- 2 快適な都市環境の創出
- 3 豊かな自然環境の創出・保全
- 4 国際金融・経済都市
- 5 交通・物流ネットワークの形成
- 6 多様な機能を集積したまちづくり
- 7 世界に開かれた国際・観光都市
- 8 芸術文化の振興

スマートエネルギー都市の実現

家庭へのLED照明普及、再生可能エネルギーの導入、水素社会の実現など、地球温暖化対策を積極的に推進

都内温室効果ガス排出量 **30%削減** (2000年比) **2030年度**

都有施設のLED照明普及率 **おおむね100%**

次世代自動車等の普及割合（乗用車） **40%**

都内の太陽光発電設備導入量 **70万kW**

家庭用燃料電池普及台数 **15万台**

2020年度



(画像提供)ピクスタ

“もったいない” 意識の定着

「食品ロス削減・東京方式」

の確立（2030年度までに食品ロス半減）

2020年度

レジ袋無償配布

ゼロ

2020年度

- 加工・流通事業者等のステークホルダー会議の設置
- 「食べずに捨てるなんてもったいない（仮称）」キャンペーンの実施

暑さ対策の推進

クールエリアの創出

6エリア程度

2019年度

都道の遮熱性舗装・保水性舗装

約136km（累計）

2020年

- 街路樹など緑陰の確保
- 公園・緑地の整備、都市農地の保全
- 路面温度上昇、人工排熱の抑制

国際金融都市・東京の実現

金融活性化に向けた抜本的な対策を推進

都による金融系外国企業誘致の加速化 **40社**誘致 **2020年度**

- 「国際金融都市・東京のあり方懇談会」での検討(平成29年中に取りまとめ)
- FinTech企業と国内金融機関等とのマッチング支援
- 「金融ワンストップ支援サービス」等での進出後手続きの利便性向上



(画像提供)ピクスタ

イノベーションの促進・中小企業支援

都の支援による中小企業の成長産業分野への参入
(ライフサイエンス、環境・エネルギー等)

700件

都の支援による中小企業の海外展開の実現

1,500件

都内中小企業等の事業承継・再生等に対する支援

2,000件

いずれも2020年度

- 先進企業の技術・特許等と中小企業の優れたアイデアを結びつける開発プロジェクトの支援
- IoTなどの先端技術を活用した産業の活性化
- 「江戸東京きらしプロジェクト推進委員会」での検討、東京の伝統ある「宝物」の磨き上げと世界への発信



(画像提供)ピクスタ

世界に冠たる観光都市・東京の実現

訪都外国人旅行者数（年間） **2,500万人** 2020年

訪都外国人旅行者のリピーター数（年間） **1,500万人** 2020年

訪都外国人旅行者による消費額（年間） **2.7兆円** 2020年

- 東京の魅力発信と観光プロモーションの展開
- インバウンド対応力の向上
(トイレの洋式化、多言語対応 等)
- アニメ・マンガなどをキラーコンテンツとして発信
- MICE誘致の更なる推進



(画像提供)ピクスタ

分野横断的な取組

東京2020大会の成功に向けた取組

競技会場の整備とレガシーの形成

選手村の整備

ラグビーワールドカップ2019™との連携

障害者スポーツの振興、バリアフリー化

多言語対応、ボランティア活動の推進

被災地復興支援

暑さ対策、テロ・防災対策

など

<東京2020大会後の選手村（イメージ）>



<障害者スポーツの魅力発信（ファンサイト「TEAM BEYOND」）>



<道路のバリアフリー化>



分野横断的な取組

多摩・島しょの振興

産業振興、農林水産業振興

地域の魅力を生かした観光振興

自然環境の保全

文化振興・スポーツ環境整備

多摩ニュータウン等地域の再生

交通インフラの整備

津波・土砂災害等の防災対策

福祉・医療サービスの拡充

<農林水産業振興（東京ウド）>



<武蔵野の森総合スポーツ施設（仮称）のイメージ>



<幹線道路の整備>



<津波避難タワーイメージ（大島岡田港）>



P D C A サイクルによる着実な実行

各政策について、**4年間の具体的な工程表**を作成

【工程表の例(地域の防災力の向上)】

取組	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
消防団への入団促進	効果的な方策の検討 活動環境の検討	新たな方策等の展開 活動環境の整備	新たな募集広報等の推進 生活や能力に応じた活動を行う団員の入団促進	
消防団相互の連携体制の整備	相互連携に向けた検討	区市町村等との調整	連携体制の整備・訓練	東京2020大会での相互連携
自主防災組織 活動支援事業	10団体実施	10団体実施	20団体実施	20団体実施

P D C A サイクルをしっかりと回し、
着実に約500の政策目標を実現

東京の成長戦略の方向性

東京が日本の成長のエンジンとして、サステイナブル、持続可能な成長に向けた大きな方向性を提示

「Challenge4 東京の挑戦」

「Strategy5 “FIRST戦略”」

「東京が世界で一番」「先頭に立って挑戦」

東京の挑戦 ～Challenge 4～

Challenge I 都内GDP 94.9兆円 ⇒ 120兆円

Challenge II 訪都外国人旅行者数
1,189万人 ⇒ 2,500万人

Challenge III 都民の生活満足度 54% ⇒ 70%

Challenge IV 世界の都市ランキング 3位 ⇒ 1位

FIRST戦略 ～成長に向けた5つの戦略～

F inance	国際金融 都市・東京の実現
I nnovation	新技術と発想で、 革新 を生み出す東京
R ise	強み を伸ばし、躍動する東京
S uccess	誰もが 活躍 できる都市・東京
T echnology	最先端技術 で成長を加速化

「Beyond2020 ～東京の未来に向けて～」東京の未来像

科学技術の進歩

人々の価値観の変化

少子高齢・人口減少

時代の潮流の先に何があるかという洞察する眼を持つ

2020年の更にその先に目を向け、科学技術の進歩や個人の意識の大きな変化などを通した、**明るい東京の未来像の一端**を描く

延長線を超えた政策の立案と都民の**共感**につながり、
今後東京が直面する様々な課題を解決していくための**原動力**に

東京の未来像の例① いきいきと暮らせる、未来の東京

- **テレワーク**が多くなり、オフィスへの出勤は週に数日程度
- **通勤ラッシュ**は過去の話
- 職場では、**管理職や役員**の半数が女性で、海外の優秀な人材も多い
- **宇宙旅行が現実**となり、ロケットは東京の中小企業の高い技術が使われている



(画像提供)ピクスタ



(画像提供)ピクスタ

東京の未来像の例②

新技術と懐かしさが融合する、 未来の東京

- 自動運転技術の進歩で、**渋滞・交通事故ゼロ**
- スポーツ拠点、ユニバーサルデザインなど、まちのいたるところに**東京2020大会のレガシーが息づく**
- 道路に林立していた**電柱**や蜘蛛の巣のように絡み合っていた**電線は姿を消した**
- 「**ごみ**」という言葉は**死語**となり、**完全循環型社会**が形成



(画像提供)DeNA

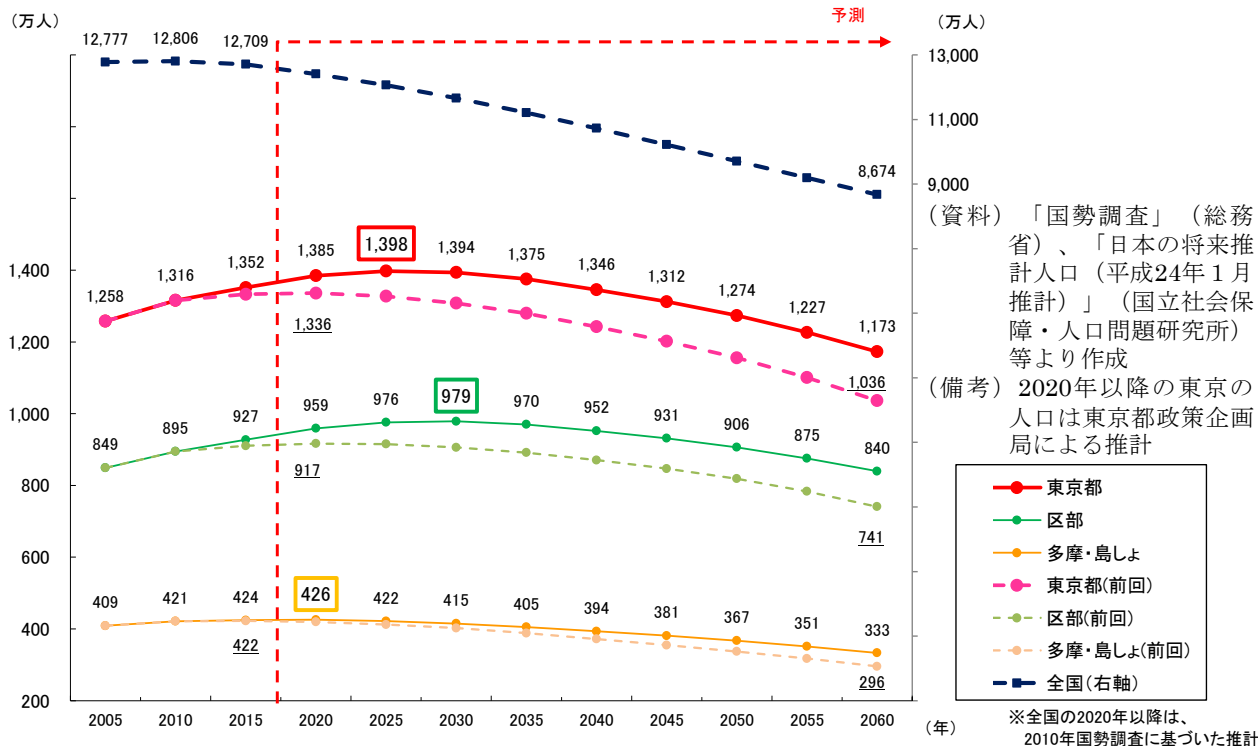


(画像提供)ピクスタ

東京の人口推計

人口のピークは2025年に

<全国と東京都の人口の推移>



(資料) 「国勢調査」(総務省)、「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)等より作成

(備考) 2020年以降の東京の人口は東京都政策企画局による推計

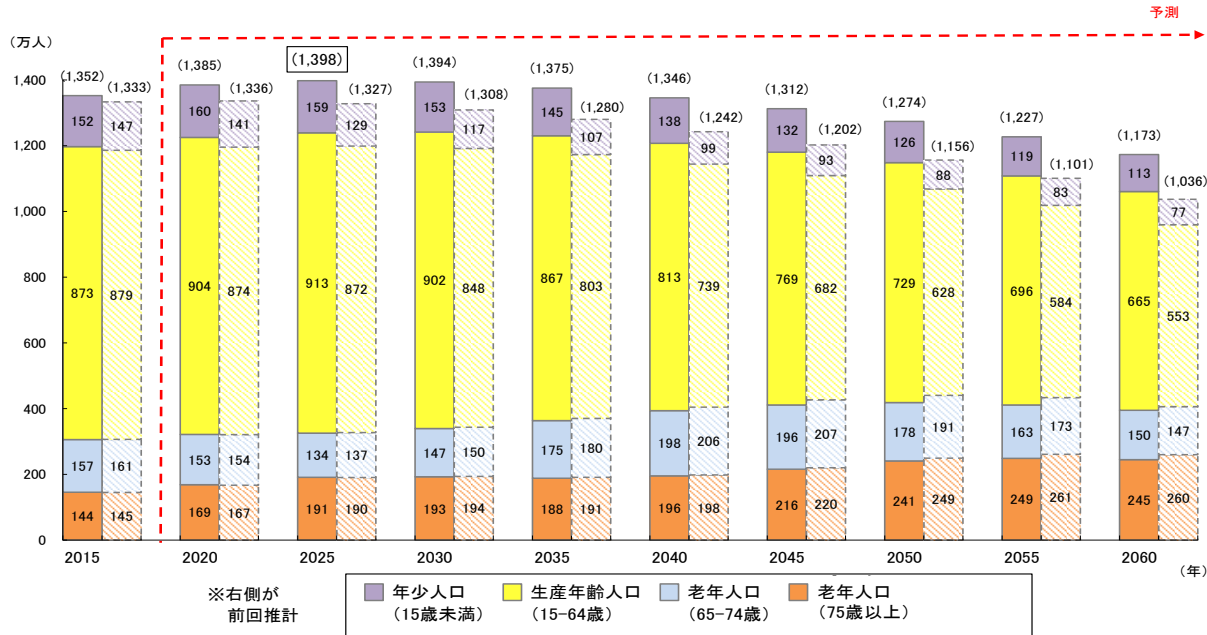
■ いわゆる団塊の世代が全て75歳を超える、2025年の1,398万人をピークに減少に転じ、2060年には、1,173万人になると見込まれる。

■ 区部は2030年、多摩・島しょ地域は区部より早く2020年に人口のピークを迎える。

東京の人口推計

現役世代1.7人に1人の
高齢者を支える時代に

<東京都の年齢階級別人口の推移>



■ 2015年には現役世代(生産年齢人口)2.9人で1人の高齢者(65歳以上)を支えているが、2060年には1.7人で1人の高齢者を支えることになる。

■ 前回推計では人口の約4人に1人が高齢者となるのが2025年としていたが、今回、5年後ろ倒しの2030年となる。

(資料) 「国勢調査」(総務省)等より作成

(備考) 1. 2020年以降は東京都政策企画局による推計

2. 四捨五入や、実績値の総数に年齢不詳を含むことにより、内訳合計が総数と一致しない場合がある